

第7章 計画の推進

第7章 計画の推進

1. 連携体制の構築

本計画は、読谷村の子ども・子育て支援に向けた総合的な計画であり、その内容は、福祉、保健、医療、教育、雇用、生活環境など幅広い分野にわたっています。

したがって、計画の推進にあたっては、庁内関連部署の有機的な連携による全庁的な体制づくりが必要です。また、施策によっては、村内に収まらないものもあり、国や県、関係機関、周辺市町村との連携をこれまで以上に強化する必要があります。

さらに、行政と地域が一体となった地域ぐるみの子ども・子育て支援体制を構築するために、地域の住民や関係団体との連携・協力を密にします。

2. 住民参加と情報発信

本計画の推進にあたっては、地域住民の参加を促進し、村民全体で子ども・子育て支援に関わることが重要です。そのためには、村の広報誌や村のホームページ等による情報発信の充実を図り、周知・啓発を行うことが必要です。

また、本計画に基づき推進される様々な取り組みや施策の成果をあげる意味でも、子ども・子育て支援関連の取り組みや施策に関する情報が村民に行き渡るよう、情報提供に努めます。

3. 各主体の役割

本計画の推進にあたっては、子どもを地域の宝としてみんなで助け合いながら、明るく楽しい子育て環境の実現に向けて村全体が協力することが重要です。

具体的には、行政だけでなく、家庭や地域、住民、企業など村内のあらゆる組織や個人が、子ども・子育て支援に関する理解を深め、それぞれの置かれた状況に応じた役割を果たすことが求められます。

(1) 家庭

子どもを持つ各家庭には、子どもを明るく元気に育てる最も重要な役割があります。家庭は子どもを育てる最も基本的な単位であり、特殊な場合を除き、子どもにとっては、家族とともに成長することが何よりも幸せであるという事実を忘れてはなりません。

また、共働きが一般的になった現在の社会においては、母親一人に子育てを任せるのではなく、父親をはじめとする家族全員で、子育てや家事を分担することが求められます。

(2) 行政

子ども・子育て支援に関する施策や事業、基盤整備を推進するとともに、情報発信や個人・企業に対する意識啓発、様々な組織への支援を通して、読谷村の子ども・子育て支援におけるリード役・コーディネート役を担います。

また、保育所や幼稚園の教育・保育に対する質の向上を目指します。

(3) 地域

自治会や子ども会などの地域組織の活動やスポーツや文化などのサークル活動、子どもに関わるボランティア組織・NPO組織の活動などを通して、子どもだけでなく、その保護者も生き生きと成長できる環境づくりに協力することが求められます。

また、近所の子育て世帯が困っているときには、できる範囲で手を差し伸べたり、相談相手になったり、地域の子ども達に気軽に声をかけたり、時には叱り、時にはほめるなど、地域ぐるみで子育てを支援する地域風土の形成・維持が重要です。さらに、子どもを産み育てることに誇りが持てる社会づくりに向け、子どもは地域社会の宝であるとの意識を地域レベルで醸成し、子どもを中心とした様々なまつりやイベントを開催することも地域の重要な役割です。

(4) 住民

読谷村には、様々な特技や技能、知恵を持った豊富な人材があります。また、やさしく美しい村民の真心は、豊かな自然や伝統文化にも優る村の誇りです。

村民の心で、読谷の子ども達を包み込み、それぞれのできる範囲で各々の特技、才能を活かした子育て支援を実行することが住民に求められる役割です。

具体的な行動としては、子ども会やPTA、自治会などの地域の活動、子どもに関する地域のまつりやイベント、スポーツ・文化等のサークル活動に参加・協力し、児童の福祉に関連するボランティア活動やNPO活動を支援することなどがあげられます。

(5) 教育・保育施設

子ども・子育て支援に関しては、教育(幼稚園・小学校等)・保育(保育所等)施設との連携が重要となってきます。研修や保幼小連携を強化することにより、教育・保育の質の向上を目指していきます。

(6) 企業・事業所

子育てと仕事の両立は、次世代育成支援において重要な課題ですが、行政の力だけでは限界のある分野でもあり、企業、職場の理解が必要となります。このため、子育てと仕事の両立に向けて、子どもや家族に優しい職場づくりが、企業や事業所に求められます。

具体的には、産休・育休制度の活用促進やフレックスタイム制の導入、多様な勤務形態の容認、出産を機に退社した人材の再雇用制度の充実など、様々な方策や制度を導入することが必要です。

また、業務と従業員の勤務実態に即して、事業所独自の一般事業主行動計画を策定することも求められます。

4. 計画の進捗状況の点検と見直し

本計画の推進にあたっては、随時、計画の進捗状況を点検するとともに、住民意向やニーズを把握しながら、「読谷村子ども・子育て会議」において、P D C Aサイクルによる取り組みのチェックを行い、計画の見直し及び修正を実施します。



